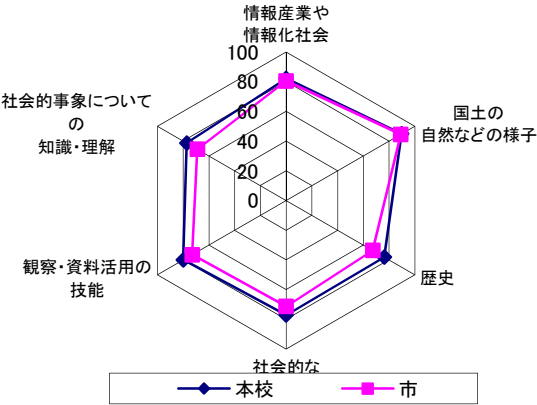


宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	82.1	80.5
	国土の自然などの様子	89.7	89.0
	歴史	76.2	67.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	77.1	71.3
	観察・資料活用 の 技能	80.0	73.1
	社会的事象についての知識・理解	77.3	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	○平均正答率は、市の平均を1.6%上回っている。中でも情報を利用する際の注意点について自分の問題として判断する問題は正答率が91.6%と大変良好である。情報と産業の関わりについて考える問題は、わずかではあるが、市の平均正答率を下回っている。	○新聞による情報の特色をとらえさせるために、授業の中で効果的に新聞を読む活動を取り入れていく。また、さまざまな情報の利点・欠点について考えさせ、時と場合に合った情報の利用の仕方ができるようにしていきたい。また、情報と産業の密接なかかわりについても様々な例を取り上げて、関心を高めていくように努める。またそれを利用する際のマナーや注意点についても、他教科の中でも扱い、考えさせていく。
国土の自然などの様子	○平均正答率は、市の平均を0.7%上回っている。中でも森林のはたらきに関する問題では、市の平均を6%上回り、良好であった。しかし、複数の資料から年々変化していく様子を読み取り、原因を考える問題の正答率は84.6%と市の平均を下回ってしまった。	○引き続き国土の自然に関心が高まるように、ニュースや新聞等の情報に目を向けさせ、授業の中での話題に取り上げていく。また普段の授業の中でも資料を読み取る活動を取り入れ、観察・資料の活用の技能を身に付けるように努めていく。 また、複数の資料から変化を読み取り、変化した理由を社会的な見方で考えられるような問題に触れさせていく。
歴史	○平均正答率は、市の平均を9%上回っており良好である。すべての問題項目において市の平均を上回っていた。中でも知識・理解を問われる問題の正答率は、高く、よく理解されている反面、複数の資料を読み、そこから考察し、表現する問題の正答率は他の問題と比べて比較的低い。	○学年全体の傾向として、歴史に対する興味・関心の高さがよい結果につながったと思われる。社会的な思考・判断・表現をさらに高めていくために、時代の流れにそって社会的事象を考えるだけでなく、文化面、外交面など観点にそって時代を比較するなどの学習を取り入れていく。また時代の背景を考えて、歴史上の人物の願いや思いを書かせる活動を充実させることにより、表現力を高めていきたい。